

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題

10歳の節目に 2分の1成人式



▲まあしいの提案で全員ステージへ。みんなで365歩のマーチを歌いました。

2月16日、大島文化センターにおいて、2分の1成人式が挙行されました。

これは10歳の節目を迎えた町内の小学4年生を対象に行っているもので、将来の夢や目標を一人一人が発表しました。この中で、お父さんのお店や漁師を継ぎたいという子供たちをはじめ、大工さんや建築家、看護師や薬剤師になりたいなど、将来の夢を元氣よく発表していました。

また、山口ふるさと大使を務める安下庄在住のミュージシャン、マウンテンマウスのまあしい（中谷昌史さん）もお祝いにかけてつけ、自身の体験談など歌を交えて、子供たちにエールを送りました。

認知症の人も安心して暮らせるまちに

2月4日、大島文化センターにおいて、周防大島町認知症講演会を開催しました。

講師に山口県の認知症の人と家族の会の代表で山口大学大学院医学系研究科神経内科学准教授の川井元晴先生をお迎えし、「ひとごとではない認知症のお話」をテーマにご講演いただきました。

川井先生は65歳以上の4人に1人が認知症とその予備軍といわれている現状から「認知症はひとごとではない」とし、「認知症は地域で考えていく問題であり、認知症の方も安心して暮らせるまちづくりを目指して、地域で認知症の人を支えていくことが大切」と話されました。

また、認知症の症状や経過、その対処方法についても、事例を交えて具体的に紹介され、350人を超える参加者も認知症を自分自身のことと見つめ直すとても有意義な講演会となりました。



「認知症は誰でもかかる病気。正しい理解と、人々との交流で本人も家族も安心を」と話される川井先生



◀大勢の方が聴講に訪れました